

日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center



2018.2 第36号



獨協医科大学日光医療センター（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（心臓・血管・腎臓内科）	2
部門紹介（臨床検査部）	3
かるしおレシピをご紹介します	4
平成29年度公衆衛生事業功労者に対する 今市健康福祉センター所長表彰式	5
連携医療機関認定病院紹介	5
感染制御部からのお知らせ／求人情報	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 心臓・血管・腎臓内科

心臓・血管・腎臓内科は、循環器内科とガッチリとスクラムを組んで、心臓病・血管病・腎臓病の患者様の診断と治療、ならびに重症化予防に取り組んでいます。

先日、緊急入院した患者様のお話です。高速道路を運転中でした。今まで経験したことのない胸全体の何とも言えない締め付けられる感じが始まり、あっという間に強くなって冷や汗でビショリ。助手席にいた家内の「どうしたの？大丈夫？」と言う声が聞こえた後、失神したらしく記憶がありませんでした。気がついたら裸で心臓カテーテル検査室の狭いベッドの上でした。変な形の帽子とマスクと眼鏡をかけた中年のドクターが、「もう大丈夫ですよ。心筋梗塞で1回心臓が止まりましたが、奥さんが車を止めて心臓マッサージしながら救急隊に電話してくれました。救急隊が到着したとき、心室細動（最も危険な不整脈でそのままにすると死亡してしまう）になっており電気ショックで洞調律に戻してから、この病院に運んでくれました。冠動脈造影で左前下行枝という冠動脈が詰まっていたのでドブ掃除の要領で血の塊を吸い取ってから狭い部分にステントという金属の薄い網を内側から留置して拡張してきました。」と説明してくれました。

心臓や血管病はある日突然やってきます。私達は、心筋梗塞症など緊急を要する患者様に24時間オープンな姿勢を貫いております。心筋梗塞の基盤となる動脈硬化は、実は20歳ころから始まっているのです。私たちは、治療だけではなく、その後のリハビリテーションならびに1次予防と重症化予防にもかなりの力を注いでおります。私たちのビジョンは、「アジアの民を虜にする医療サービスを提供する」です。病気になる前から気軽に健康管理の相談をでき、予防活動にも貢献できる、そんな地域に密着した病院を目指して頑張っております。

大学の使命は、臨床だけではなく、教育と研究も大切な柱です。教育については、卒前教育として隔週2日間ベッドサイド学習で回ってくる医学部5年生に身体所見の取り方や検査の手技を懇切丁寧に教えます。研修医は、徹底したon the job trainingで鍛え上げられ、週2回の上級医によるセミナーで基礎を教えてもらいます。研究に関しては、医工学大学院を中心に積極的に臨床研究を展開しています。文科省科学研究費は現在3本、文科省研究奨励賞3本、外資製薬メーカーグローバル臨床研究大型助成金1本に採択され順調に臨床研究が進んでおり、国内特許を1件申請しました。新薬の治験も始まり、臨床研究支援室のCRCの並々ならぬご努力でたった2ヶ月間で予定の6例を国内最短のスピードで登録しました。

皆様に頼りにされる「心臓・血管・腎臓内科」を目指して精進いたします。至らぬ点は、遠慮無く責任者の安に耳打ちしてください。

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 臨床検査部

【スタッフ】

臨床検査部長（医師）1名、臨床検査技師10名、事務員（午前のみ）1名です。臨床検査技師のうち病理部との兼務が3名、感染制御部専任が1名です。検体検査は外部委託で、院内に7名の臨床検査技師と1名の検査補助員がおり、24時間体制で検査を行っています。

【業務内容】

検査は主に検体検査と生体検査の2つに分かれます。検体検査は患者様から採取された検体（血液・尿・便・喀痰など）を検査します。生体検査は患者様の体に器具を装着して、生体情報から病気を見つけます。その他に外来採血や人間ドックの検査も行っています。ともに病気の早期発見や経過観察、治療効果の判定に役立っています。

【特 色】

検体検査は精度保証施設認証を取得しており、検査データの信頼性が保証されています。生体検査は、各種多数の認定資格を持った臨床検査技師が、複数の検査項目を担当しています。さらに他職種と協同して医療安全や感染対策に取り組み、臨床研究への協力も行っています。

【最後に】

日光医療センター・臨床検査部（兼病理部）は、病気の診断、治療に必要な臨床検査を的確に実施し、検査結果の精度向上、維持に努力することを理念とし、患者の訴え・急変時に対応できる観察眼を養う努力や接遇教育にも力を入れています。

超音波検査、脳波、神経生理検査等において、予約以外の急な検査に技師同士が協力し合い、いち早く対応して臨床側の要望に応えています。又、技師同士仲良く明るく楽しい心地よい部署です。



かるしおレシピをご紹介します ~当院で2016年11月から入院患者様向けの特別食(心臓食・糖尿病食・透析食・たんぱく調整食)を実施しています。

日本人は**塩分のとり過ぎ**。
全員が**高血圧予備軍**です。



年をとるごとに自然と少しずつ上がっていく血圧。
高血圧には自覚症状がありませんが、そのまま放っておくと動脈硬化が進行して脳卒中や心筋梗塞をおこしやすくなります。この高血圧の予防や治療に効果的だとわかっているのが「減塩」なのです。
当院では減塩でもおいしく食べていただくために「かるしおレシピ」を取り入れてます。

- ① 野菜はゆでて調理
- ② 魚や肉にかつおだしで下味をつける
- ③ ハムや練り製品はゆでて調理



今回も当院で提供している「かるしおレシピ」をご紹介します。

魚の土佐焼き

塩分

0.9g

エネルギー

133Kcal



【材料】(1人分)

- | | | |
|---|---|-----------------|
| A | } | 鰯(3枚おろし・切り身)80g |
| | | かつおだし汁 ……カップ1/4 |
| B | } | しょうがすりおろし 適量 |
| | | しょうがすりおろし 適量 |
| B | } | 酒 ……大さじ1/2 |
| | | 減塩しょうゆ ……大さじ1/2 |
| | | 酢 ……小さじ1 |
| | | 砂糖 ……2g |
| | | ねぎ(小口切り)・適量 |
| | | かつおぶし ……適量 |
| | | ブロッコリー ……20g |
| | | 減塩しょうゆ ……小さじ1/2 |

【作り方】

- 1 鰯とAをビニール袋に空気を抜いて入れ、1時間浸す。
- 2 鰯の汁気をとる。
- 3 Bに鰯を浸す。
- 4 Bの汁気をとる。
- 5 鰯にねぎをのせてフライパンで、鰯を蒸し焼きにする。
- 6 5の鰯の上にかつおぶしをのせて、お皿にのせ、野菜を添える。

かつおだしをしみこませてから“蒸す”。
魚のうまみを最大限に引き出します。

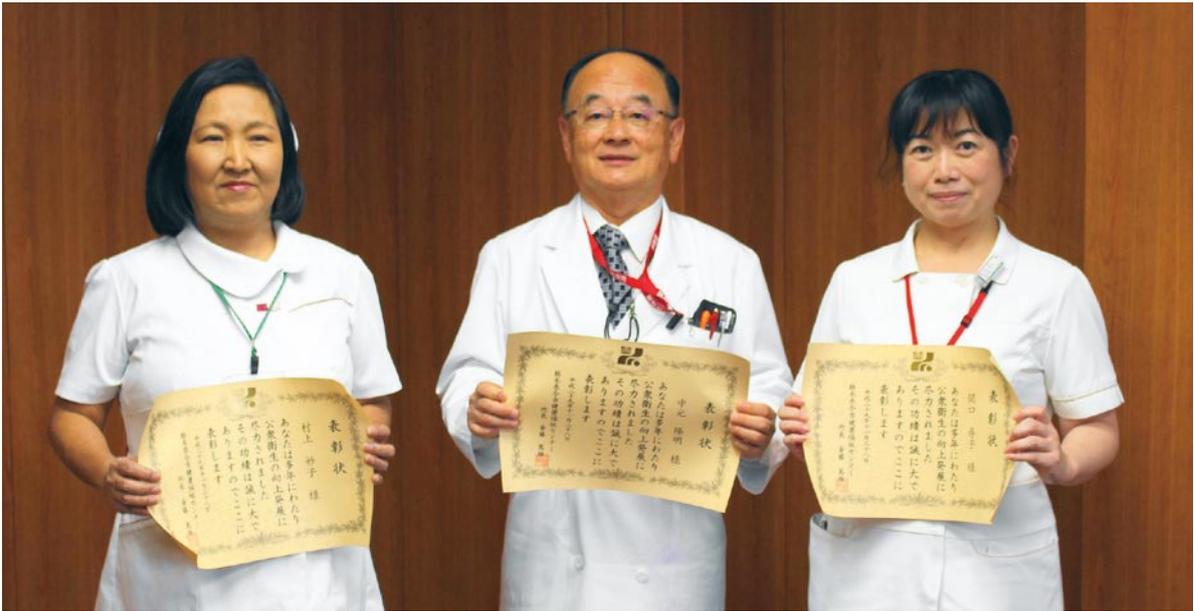
かるしお
ポイント!

下味をむだなく生かすには「煮る」より「蒸す」!
煮汁にうまみがにげないし、うっかり煮過ぎて身がかたくなる、なんてこともありません。

平成29年度公衆衛生事業功労者に対する今市健康福祉センター所長表彰式

平成29年11月28日(火) 平成29年度公衆衛生事業功労者に対する今市健康福祉センター所長表彰式が行われました。日光医療センターからは中元統括管理者、放射線部の関口さん、看護部の村上さんが受賞しました。

公衆衛生事業功労者に対する所長表彰は、多年にわたり公衆衛生事業の発展のため献身的な活動を続け、その功績が特に顕著な個人及び施設を表彰し、その苦勞に報いるとともに管内公衆衛生の向上を図ることを目的とした賞です。



連携医療機関認定病院紹介 ～ 奥山医院 院長 奥山 明彦 ～

【「笑い療法士」の日々】

その日の朝、タイマー代わりにセットしておいたラジオが「笑い療法士誕生」のニュースを伝えていました。平成18年の2月のことです。「笑い療法士」とは「笑いをもって自己治癒力を高めることをサポートする人のこと」だそうで、その一期生49名が認定を受け、現在二期生を募集中とのことでした。かねがね「医療」と「笑い」の関係に興味を持っていた私は早速申込み用紙を取り寄せ、締切ギリギリで4月の研修会に参加することになりました。



研修会には、全国から約100名の候補生が集まりました。医療関係者ばかりでなく、介護施設の施設長さん、吉本関係の方等様々。日本医科大学の講堂で2日間、朝から夕方まで缶詰になって、小児外科医で理事の高柳和江先生や脳外科医で落語家の中島英雄先生（故人）の講義、候補生数人と与えられた課題を解決、発表するという、ワーキンググループもありました。極めつけは卒業試験。一人ずつ部屋に入って「患者さん」と面接し、その様子をビデオ撮影されるというもの。自分の順番になり、ドキドキしながら入っていくと、「患者さん」は何と壁に貼ってある「ムンクの叫び」でした。そしてどうにかこうにか94名が二期生として認定を受け、私の笑い療法士としての日々が始まりました。

現在私は鹿沼市内の小さな診療所で、従業員5名と共に日夜地域医療に奮闘しています。本院はこれといった特徴はありませんが、強いていえばこの地域では数少ない心療内科を標榜していること、そして在宅医療（往診や訪問診療）に力を入れていることです。そんな患者さんや家族に接する時、自分が笑い療法士であることを自覚して対応するよう心がけています。その際注意しなければならないことの一つは「笑わせ療法士」になってはならないということ。患者さん、家族の心に寄り添い、温かい笑いを引き出して、患者さんの自己治癒力を高めることが最大の目標です。「いるだけで空気が変わる、雰囲気や和む、社会が楽しくなる人」を目指して日々精進している今日この頃です。



感染制御部からのお知らせ

御来院の皆様へ インフルエンザ ノロウイルス



流行中



院内では、マスクを着用の上、手指消毒をお願いいたします。

感染制御部

当センターと一緒に働いてみませんか？

平成30年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288 - 76 - 1515 (内線270) 看護部

※平成29年度採用についても随時対応いたします。

編集後記

表紙の写真にもあるように、日光の降雪は一晩であっという間に積もることが多いですね。当センターにご来院する皆様も渋滞・公共交通機関の乱れ等、ご不便を感じることも多いのではないのでしょうか？私は車で1時間半ほど南から出勤してくるので、いつも突然の雪景色に驚いております。日光はどの方角を見ても綺麗な景色が広がっているので、運転するのは大変になりますが、密かに雪が降るのを楽しみにしています。ただ、寒さは苦手なので・・・、美しい雪山を眺めながら春の訪れを待とうと思います。

(A.E)

日光医療センター通信 ～いろは～ 第36号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日／平成30年1月00日

編集・発行／獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷／(株)松井ピ・テ・オ・印刷

募集サイトはこちら

<http://dokkyoika-daigaku.disc-chc.jp/nikko>

または、右記のQRコードを読み取り
アクセスして下さい。

